

名古屋文理大学 / 名古屋文理大学短期大学部 / 名古屋文理栄養士専門学校

## 大学で身につけた “自分から学ぶ姿勢”が 私を支える大切な財産

栄養剤や高齢者用食品の営業として、毎日医療や看護の現場を回っています。咀嚼(そしゃく)が難しい高齢者向けのとろみ調整食品など、私が学生時代に専攻していた「加工でんぷん類の研究」を活かした商品も提案しています。

学生時代に自分たちが作った給食を、みんなに「おいしい」と言ってもらえたことが今も大きな励みになっています。就職の理由も、実習で食べ比べた介護食品で明治の商品が一番おいしかったからです。栄養バランスに優れ摂取しやすいのはもちろん、食べた人に「おいしいよ」と言ってもらえる食品を届けたいですね。

### 医療現場や介護施設を外から眺める 営業だからわかる、文理大のパワー。

病院などで名古屋文理出身者がたくさん活躍していて、私が同大学の卒業生だと言うと、ずいぶんと気にかけてもらえます。また、医療の最前線などで働く先輩たちの姿から「私ももっと頑張ろう」とパワーをもらうこともあります。

大学で得たものの中で一番大切にしているのは、「自分から学びに行ったことは身につく」ということ。受身に聞いた講義ではせっかくの内容も右から左ですが(先生方、ゴメンなさい!)、専攻課程の実験など積極的な姿勢で学んだものは、自分の糧となっています。今でも、仕事で疑問に思ったことを調べ考えることで、お医者様など周囲からの信頼も得られるようになってきました。いつか私の提案した商品が実現したら、ぜひ食べた人の「おいしい」の声が聞きたいですね。



専攻科時代の恩師にとっても感謝していると語る河合さん

活躍する卒業生 第4回

株式会社 明治 健康栄養営業統括二部営業三課・栄養士

## 河合 佑衣子

Yuiko Kawai

名古屋文理大学短期大学部 専攻科 食物科学専攻  
平成17年度卒

meiji

株式会社 明治 中部支社

事業  
内容

医療機関や介護施設へ栄養剤や  
高齢者用食品のご紹介

理事長×新学長

# 特別対談

## 「社会のニーズに応え続ける 学園であるために」

名古屋文理大学 学長 景山 節  
名古屋文理大学短期大学部

学校法人 滝川学園 理事長 滝川 嘉彦  
学校法人 名栄学院

### 社会のニーズに応える教育カリキュラムを作り続ける

—理事長、学長としてどんなことを心掛けていますか？

滝川 今、社会の変化に教育内容がついていけない大学が取り残され始めました。そこで本学では、食品産業や病院など、現場で必要とされるニーズをつかみ、カリキュラムに即、反映しています。だから就職氷河期などの言葉も本学とはあまり関係ないと思っていますよ(笑)

景山 少子化、情報化など、日本社会が大きく変わってきています。その中で、高齢者向けの栄養学など新しいニーズに応じた教育を取り入れて、社会に必要とされる人材を送り出したいと考えています。

滝川 一例として、iPadを情報メディア学部の新入生全員に配布しました。情報端末を使いこなすことで、新しいチャレンジができます。また学生の質が変わる中で、基礎教育センターという取り組みもスタートしました。

—新入生の質が変化しているのですか？

景山 専門学校からの入学や社会人入学が増えるなど、偏差値の上がり下がりではなく、基礎ができていない人から全然やってこなかった人まで、入学時ですでに大きな差ができています。そこで、まずは確実に基礎学力を身につけるセンターを設けました。ただし、高校までの授業のやり直しでは学ぶ方もつまらないので、大学らしい高度なカリキュラムを目指して、テキストなどもすべて自前で作っています。

滝川 基礎教育センターを運営して半年弱ですが、学生同士が相談しあって実験を進めたり、教授の部屋に入り浸るほど熱心な学生が現れたり…と、早くも成果が見えてきました。『笑顔が絶えない授業』、『協力を自主的に行う授業』という、教育書の中にしかなかったような授業が実際にでき始めているんです。

### 先の見えにくい世の中に、本学の知恵と精神が貢献できる

—近年では大学と地域の関わりなども変化が見られるようですが？

滝川 そうですね。インターンシップなど、地域や企業、高校などと大学の繋がりはますます太くなっています。

景山 現在、企業や自治体など『自分達がこれからどう組織運営したらいいかわからない』という組織が本当に増えています。大学の知恵と学生のパワーを生かし、実践の場である地域社会と互いに相談し合えるような関係を目指しています。

滝川 従来の企業コンサルティングの手法では地域の組織を救うのは難しいと感じています。本学のモットーである“自分で考える”精神で、地域のよい相談者になれたらと思います。

### 少子化の中でむしろ発展し、学生数も増えている文理大学

—少子化の中でも、文理大学では受験志願者がむしろ増えているようですが、なぜでしょう？

景山 就職率の高さや管理栄養士合格率の向上などももちろんあるとは思いますが、基礎と専門性をバランスよく身につけた卒業生の社会での活躍が大きいのではないのでしょうか。

滝川 まったくその通りで、人間性と専門性の両立こそが本学の強みです。街で『人間性を育てます』などのキャッチコピーを時々目にしますが、人間性だけを磨いても不十分。専門的知識や技術と結びつくことで、その人間性も生きてくるのではないかと思います。

—では社会に必要とされる人になるため、何が大切でしょうか？

景山 大学には個性的な先生や職員がたくさんいます。楽しい先生だけでなく、不機嫌そうな先生、熱い先生、いろいろです。大学は先生方の個性を損なうことなく、学生と向き合える環境を用意します。学生さんには先生方とのコミュニケーションを通して、社会で出会う様々な人とのコミュニケーションの練習をして欲しい。せっかく現代社会に生きているんです。口ベタならメールやネットを使ってコミュニケーション力を磨くこともありだと思います。

滝川 学生時代にいっぱい失敗することです。現在は受験やテストもあって、小中学生も大きな失敗ができません。社会人になって責任を伴う立場になれば、なおさら失敗ができません。しかし失敗の中にはより大きな成功の秘密が詰まっています。だから本学にいる間ぐらひは、どんどん失敗して欲しい。そして、失敗から立ち上がる力や知恵を身につけて欲しい。まさに七転び八起きです。リスクのないところにチャレンジもありません！



【卒業生に二言】

#### 景山学長

社会に貢献し長く頑張れるよう、期待しています。そのために大切なことは人間関係の築き方。大学で学んだこと、接した先生方を思い出し、社会生活に生かして下さい。

#### 滝川理事長

卒業後もみなさんの触れ合いの場として来訪を待っています。卒業生の言葉から教わった多くのことが、私の宝となっています。また社会人として、文理大生の誇りを持って頑張ってください。

### 新学長ご挨拶

今年4月、学長に就任いたしました景山です。少子高齢化や共働き家庭が増えた現在、多くの卒業生が活躍する病院や給食関連の仕事は、ますます重要になっています。短大で力を入れている保育園や福祉関連、新しい柱に育った情報関連もニーズが高まっています。こうした社会の変化の中、本学で学んだみなさんの活躍を大いに期待しています。

名古屋文理大学 学長 景山 節  
名古屋文理大学短期大学部

#### 【プロフィール】

昭和49年名古屋大学で理学博士を取得。同年より京都大学の霊長類研究所で、主にサル栄養学について研究を続け、数々の成果を著す。平成11年度より京都大学霊長類研究所附属人類進化モデル研究センター 教授、同研究センター長を経て、平成18年に京都大学霊長類研究所 副所長就任。平成22年3月に定年退職し、同年4月に本学 健康生活学部健康栄養学科教授/学部長に就任。平成23年度には学校法人滝川学園理事、平成24年4月、本学および本学短期大学部 学長に選任され、現在に至る。

## 1. 名古屋文理大学の新しいテレビCM 「まっすぐ咲く編」が完成しました

平成24年5月23日(水)～6月10日(日)に放映された本学のテレビCMはご覧いただけましたか？

『熱意』『懸命』『真摯』を大切にして欲しい、という思いを込め、「まっすぐ咲く」をテーマにいたしました。CMに登場するモデルの方の笑顔には、未来に向かい「まっすぐ咲く」ことの喜びや楽しみが現れています。

不器用ながらも、おのおのの分野で前進しようとしている卒業生、在学生。そして、夢の実現へ第一歩を踏み出そうとしている多くの受験生、その受験生を支えるご家族の方々。すべての方に関心を持っていただき、また、「安心して学べる場」として認識していただけるようCMを制作いたしました。

You Tubeでも配信されておりますので、まだご覧になっていない方は是非一度、ご覧ください。



<http://www.nagoya-bunri.ac.jp/>

## 2. 『ぶんり号』が再び走る 名古屋鉄道特急一般車両に名古屋文理大学のボディステッカー

平成24年1月から本学の新しいボディステッカーが貼られた名古屋鉄道特急一般車両が、名古屋鉄道のすべての路線を走っています。

ボディステッカーでの広報は2回目ということもあり、本学コミュニケーションマーク(BUNRI)以上に本学が若者に求める姿勢『まっすぐ咲く』を大きく取り上げました。本学から夢や目的意識に対し愚直に頑張れる若者を、より多く社会へ輩出したいと考えます。そして、本学のさらなる飛躍を目指すために、これからも多くの方の目に、心に、留まる広報に取り組んでまいります。



### CAMPUS \* NEWS

全学

#### グリーンカーテン作成しています 文理ecoチャレンジプロジェクト 学内省エネ活動の一環として

本学北館1階事務所の南側において、ゴーヤによる「グリーンカーテン」を今春から作成し、この夏成長著しく茂っています。これは平成23年度から開始した「文理ecoチャレンジプロジェクト」の一環です。プロジェクトでは、3年間にわたり、本学で使用する電気・ガスなどにつき、年間消費エネルギー量をCO<sub>2</sub>排出量に換算して毎年対前年度比年1%減とした数値目標を立てて日々活動しています。なお、23年度は対前年度比マイナス8.9%でした。グリーンカーテンの勢いのように、今後とも活動をより一層推進していきたいと考えています。



全学

#### 宮澤節子副学長、田中正教授へ 名誉教授称号授与

宮澤節子前名古屋文理大学短期大学部副学長、田中正同教授へ、長年にわたる研究・教育の功績と本学への多大なる貢献に対して、名誉教授称号授与が、名古屋文理大学短期大学部教授会で決議され、理事会で承認されました。

去る3月15日名古屋文理大学短期大学部全体教職員会議で名誉教授称号授与式が行われ、滝川嘉彦理事長から労いと感謝の言葉を添えて称号記が授与されました。

なお、宮澤、田中両先生は平成24年3月末をもって退職されました。



宮澤節子副学長



田中正教授

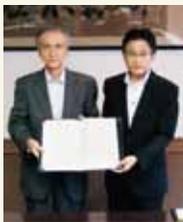
大学

## 愛知県立稲沢東高等学校と 高大連携に関する協定を締結しました

本学と愛知県立稲沢東高等学校は8月6日、高大連携に関する協定を締結しました。

これはお互いに教育の分野で交流・連携を行うことで、①高校生の視野を広げ、進路に対する意識や学習意欲を高めること、②大学の求める学生像・教育内容への理解を深めてもらうこと、③高校教育・大学教育の活性化を図ることを目的としています。

これまで、稲沢東高校とは本学の基礎教育センターを中心として、「大学施設内での化学実験授業の実施」「高校への出前授業」などで教育協力・連携を行い実績を積んできた経緯がありました。今後は既存の教育の枠を超えて連携・交流をさらに深めていきたいと考えています。



大学

健康栄養学科

## 地元小学校などに学生の 「出前授業」で食育の輪を広げています！

健康栄養学科開設以来7年間、辻ゼミ(4年生)による食育支援「出前授業」を継続・実施しています。「朝ごはんの大切さ」を基本のコンセプトとして、毎年、学生による企画・演出で劇を交えた授業と調理実習をしています。「私食べるヒトから私作るヒト」に変身して、子どもが朝ごはんを家族に作ってあげようとする試みで大成功でした。平成23年度のテーマは「野菜を食べて元気アップ」稲沢市のマスコットキャラクター「イナッピー」も登場しました。



速報  
管理栄養士  
国家試験合格率  
98%!

大学

フードビジネス学科

## フードビジネス学科学生5名が 一宮モーニングコンテストで入賞

稲沢市に隣接する一宮市はモーニングサービス発祥の地として知られています。平成24年2月、フードビジネス学科の学生が考案したモーニングメニュー5点が、一宮モーニング協議会主催「一宮モーニングコンテスト」において、優秀作品として表彰されました。翌3月に実施された「一宮モーニング博覧会」では、入賞作品をもとにした「名古屋文理大学モーニングメニュー」が提供されました。名古屋文理大学メニューの提供を新聞で知った方が他県から来場されるなど、当日は大盛況。学生たちが来場者に対応しました。



大学

情報メディア学科

## 新しいiPad無償配布を実施

情報メディア学部の新入生全員に4月19日、「新しいiPad」の無償配布を実施しました。対象学生は95人で、昨年の入学生へのiPad 2の配布に続いて2年目です。当日は、事前に各学生の希望にあわせて準備されたブラックまたはホワイトのボディカラーの新型iPadが配布され、学内Wi-Fiへの接続設定などを行いました。また、学生ホールでは、本学オリジナルiPadケースやiTunesカードの割引販売も実施されました。学生たちは期待を胸に、さっそくiPadを操作したり設定を確かめたりしていました。

配布されたiPadは、昨年同様、様々な授業で利用するほか、学生同士などのコミュニケーションツールとして学内無線LANをいつでも自由に利用できます。管理は各学生に任せられており、自宅でも学習に利用でき、卒業時には各自にそのまま無償譲渡されます。

iPadはすでに授業でのLMSの利用や学生によるiOSアプリ開発など様々なことに活用されていますが、今年から履修登録や学習カルテ、そしてポータルにも活用が広がります。新しい情報環境、学習環境を活用して学生たちがますます発想を広げていけるよう、期待が高まります。



大学

PR学科

## PR学科、フードビジネス学科 の学生が福井県で農業体験

平成24年8月11日、福井県越前市白山地区の農場でPR学科4名、フードビジネス学科3名の学生がスイカの収穫作業を体験しました。これは耕作放棄地を再生して農作物を作るという福井テレビのプロジェクトに有志が参加したもので、前日には福井テレビ本社、福井新聞コウノトリ支局などを訪問し、食と環境保全、それに対するメディアの取り組みについて当事者から直接話を聞くことができ、大変有意義な学習体験となりました。



短大部

食物栄養学科

## 平成24年バレンタイン 名鉄百貨店本館にチョコレートナナちゃん 登場!

食物栄養学科製菓専攻の学生が、名鉄百貨店のバレンタインイベント「サロン・デュ・ショコラ2012」の目玉企画として、名古屋駅前のシンボル「ナナちゃん人形」をチョコレートで製作しました。

本物のナナちゃんの身長は6メートル以上あり、普段は見上げることしかできないため製作は困難を極めました。写真で詳細を確認しながら1ヶ月の期間をかけ、7kgのチョコレートを使って身長80cmのチョコレート製ナナちゃんを完成させることができました。

平成24年1月25日～2月15日まで名鉄百貨店本館に展示され、現在は、本学学生ホールでその姿を見ることができます。



短大部

## 「地域貢献—食育推進事業—」案内

3世代(園児とその保護者および地域の高齢者)の各ライフステージに応じた「食生活改善の普及啓発」および「健康増進」を目的に始めた食育推進事業も、今年で5年目を迎えます。

今年度の実施事業として、本学近郊の幼稚園で日本の食文化「おせち料理」についての食育講座、園児とその保護者限定の親子料理教室では「親子で楽しくおせち料理作り」を開催します。

また西区社会福祉協議会いきいきくらぶ(高齢者はつつつ長寿推進事業)の協力を得て、区内8カ所にて高齢者を対象とした講座「健康な生活を送っていますか?運動と食事について考えてみましょう」と「バランスの良い食事」をテーマに料理教室を開催します。

さらに西生涯学習センターとの連携講座では、親子で楽しむお菓子作り「クリスマスケーキ作り」と「バレンタインのお菓子作り」を、北生涯学習センターとの連携講座では、「エンジョイ!ヘルシーライフ～これからの健康を考える～」を統一テーマに4回シリーズの講座を行います。



幼稚園での学生による食育講座(平成23年度)



親子料理教室(平成23年度クリスマス料理)

短大部

## 「食栄サロン」について

食物栄養学科では、オープンキャンパスの参加者やパンフレット等資料請求者など、本学に興味を持っていただいている高校生向けのニュースペーパーとして「食栄サロン」を発行しています(平成21年9月創刊=奇数月の隔月発行)。

食栄サロンは、食物栄養学科をより深く知ってもらうため、学科で行われている講義の様子や取り組んでいる行事の紹介を中心に、在学生のキャンパスライフを多くの写真とともに、分かりやすく掲載しています。また、「文理レシピ」として調理学実習で作っている料理のレシピも載せています。

HPに専門ページを作成しバックナンバーもご覧いただけるようになっています。より充実した内容を定期的・継続的に発信することにより、入学者の増加につながるよう頑張っています。



**短大部** 西区お菓子祭り

名古屋市西区の庄内緑地公園で平成24年10月14日(日)「西区お菓子まつり」が開催されます。



マジパンキャラ工房

本校も「マジパンキャラ工房」として参加します。対象者はお子様で製菓専攻の学生が教えます。マジパンというアーモンドパウダーと粉糖を合わせたペーストでトラやパンダなど可愛い作品が製作できます。完成したマジパン細工は大切に扱っていただければ長期間の保存が可能ですので、参加されたお子様には素敵な作品を作ったいただき、記念になればとても嬉しいことです。参加する学生にとっても「教える」ことを体験できる貴重な時間なので、大変有意義なものになるのではと思います。

**専門学校** 在学生も卒業生も大健闘です

**全国栄養士実力試験の結果より**

毎年12月実施、全国の4年制大学、短期大学、専門学校の多数の学生が挑戦する、(社)全国栄養士養成施設協会認定の全国栄養士実力試験において、平成23年度2年生の平均点は52.8点で全国平均39.3点を13.5点も上回りました。結果、なんと90%以上の者がA判定(全国平均A判定率は約60%)の認定をうけました。本当によく頑張りました。

**第26回 管理栄養士国家試験の結果より**

直近の国家試験の合否発表が5月にありました。本校卒業生31名がみごと管理栄養士合格となりました。東海北陸地区の栄養士養成校では本校がトップです。ちなみに全国平均合格率は、専門学校卒22.9%、短期大学卒22.7%であるのに対し、本校卒合格率40.3%でとても素晴らしい結果でした。まことにおめでとございました。

**専門学校** 助手の先生方がすべて新スタッフでスタート

平成24年度、助手の先生方全員が新メンバーとなりました。

新スタッフ3名(写真左より、松本祥子先生、田中明奈先生、林潤子先生)が教授陣に加わり、学生と一番距離の近いポジションで、本学の「栄養士教育」をサポートします。どうぞよろしくお願い申し上げます。



**専門学校** 専門学校卒業生の就職内定率100%達成! 6年連続の快挙

専門学校卒業生の就職内定率が平成18年度卒業生から6年連続100%の快挙を達成いたしました。本人の就活への取り組みや努力もさることながら、さまざまな分野でご活躍中の同窓生や関係企業・事業所の方々の温かいご支援があつてこそと、心よりお礼申し上げます。今後とも母校の後輩たちにご支援賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

**専門学校** 「健康料理教室」が2周年を迎えました



一般の方を対象に地域貢献や生涯教育のニーズに応えるための「健康料理教室」が2周年を迎えました。年齢層も受講理由もまちまちですが、みなさん料理好きな方ばかり。「献立のバリエーションも豊富で、毎回楽しく受講しています」とますます好評です。地域のみなさんをはじめ、全学園の在學生や卒業生、その関係者の方々の参加も大歓迎いたします。受講生登録を例年8月頃と2月頃の年2回受付けています。事前にお電話(052-531-1888)いただければ、その頃あらためてご案内いたします。詳細は本校HPでもお知らせしますので、是非、お見逃しのないように。

専門学校URL : <http://spe.nagoya-bunri.ac.jp/>

**専門学校** 専門学校の平成25年版カレンダーをプレゼントします

はがき裏面に、カレンダー希望と明記、「母校を社会一般へ広くPRするためのアイデア」と、郵便番号・住所・氏名・卒業学科・卒業年度をご記入のうえ、下記の宛先までご応募ください。締切は平成24年11月末日、応募者多数の場合は抽選で20名様とさせていただきます。なお当選発表は発送をもって代えさせていただきます。



**【応募先】**

〒451-0076 名古屋市西区東岸町2-53-1  
名古屋文理栄養士専門学校 庶務課 宛

## 男子テニス部

### 第47回全国私立短期大学体育大会 第3位

日本私立短期大学協会主催「第47回 全国私立短期大学体育大会」が平成24年8月6日(月)～8月9日(木)に行われました。

男子テニス部個人戦ダブルスにおいて食物栄養学科栄養士専攻1年の亀之園祐希さん、古井良幸さんペアが《第3位》というすばらしい成績を収めました。

今後も一層の活躍を期待しています。

快挙!!



## ご当地アイドルとして活躍中! PR学科4年 羽田 玲美さん

私は平成23年の8月から「稲沢ご当地アイドル LOVEINA30」の一員として活動をしています。アイドルになりたいという夢と、さらには本学のある稲沢を拠点に活動したいという気持ちからオーディションを受けました。

私の所属するアイドルグループは地域密着型です。稲沢のお祭り行事や企業イベント、その他にも稲沢付近のイベントに数多く出演させていただき、稲沢の良い所をメンバー丸となってPRしています。少しずつではありますが、ファンの方も増えてきており、とても遣り甲斐を感じています。将来は、現在のアイドル活動を通じてモデル、歌手など様々な分野で活躍していきたいと思っています。(羽田述)



イベントで活躍する羽田さん(右端)

## Professor File

### ぷろ・ふぁいる

### 第4回

“本学教員の研究内容をお伝えます。”

### 加藤 治美 (かとう・はるみ)



#### プロフィール

1969年名古屋栄養専門学校(現名古屋文理栄養士専門学校)専攻科修了。名古屋文理短期大学教授を経て、名古屋文理栄養士専門学校専任教員、管理栄養士。担当教科は調理学・調理学実習・栄養指導実習など。食文化研究サークル顧問。平成24年度より栄養指導ゼミナール顧問を兼任。学外では名古屋市西生涯学習センターにおいて「季節の野菜料理」をテーマに講義および実習。一宮市では高齢者料理教室を担当。「健康料理教室」和風料理を担当し、和服での指導を行っている。

本学では永年、調理学実習を担当しており、「鬼のカトウ」と呼ばれているようだ。自分では鬼ではなく慈母だと思っているが、学生たちは、「ハイ! 減点」の一言におびえているとか。本学を卒業後、栄養士の職場でのミスが重なれば「あなた、どこ出身?」と問われることでしょう。そんなことのないように、しっかりと学んで欲しいと思うのですが、「教員の心、学生知らず」、口角泡を飛ばしての講義もどこ吹く風!今風にいえば「それって、アリ?」の連続である。

時代とともに、調理技術も進歩し、いつのまにやら、聞いたこともない料理がまたにあふれるこのごろですが、いつ、どこでも、おいしい物が食べられるとは限らない。不測の事態に備えて、自分の力で食材を調達し、調理し、自分だけではなく周りの人にも食べさせることができる、そんな力を持ってほしいと願いながら、あいかかわらず「ハイ! 減点」の日々である。(加藤述)

## ■就職状況(大学)

近年、景気は底を打ったと言われ、一部に明るい兆しも見えていますが、雇用情勢は依然として厳しい状況が続いています。なかでも、大学生の就職は、募集定員に達しなくても採用を見送る「厳選採用」や、それに伴う採用期間の「長期化」が進んでおり、取り巻く環境は過去に例を見ない厳しい状況となっています。

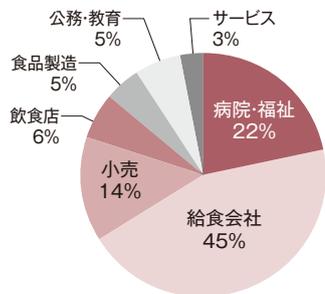
キャリア支援センターでは、そのような環境に立ち向かっていく学生に対し、目標や適性にに応じて専門のキャリアカウンセラーが全面的にサポートしています。

キャリアカウンセラーは日々の就職活動の相談はもちろん、日常の学生生活や家庭での悩みも併せて相談に応じ、一緒に考えていくことで学生との信頼関係を構築し、就職活動の複雑な問題点を根本から解決しています。

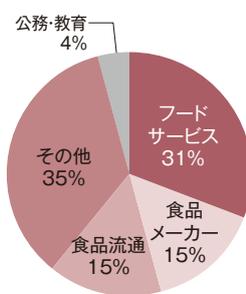
その結果、内定先への高い満足度とともに、本学の就職内定率は92.2%（平成23年度）となり、愛知県内の大学卒業生就職内定率91.4%（平成23年度 愛知県産業労働部就業促進課調べ）を上回る結果となりました。

今後も、学生の視点に立ち、地域社会の雇用の充実に繋がるよう努めてまいりますので、何卒ご支援のほどよろしくお願い申し上げます。

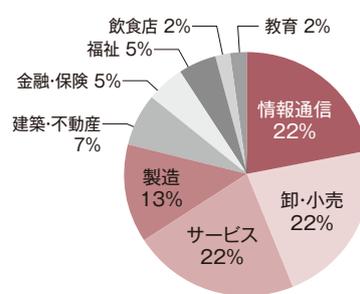
### ■業種別内定比率 (平成23年度)



健康栄養学科

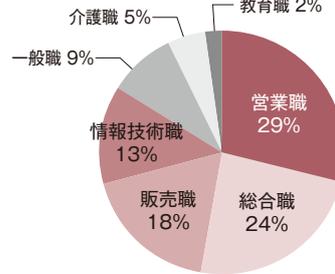
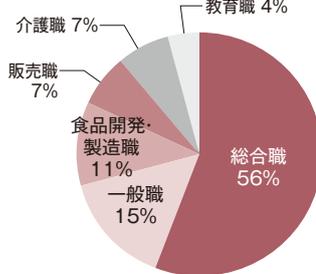
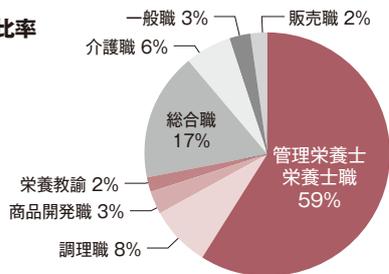


フードビジネス学科



情報メディア学科

### ■職種別内定比率 (平成23年度)



### ■卒業生の主な就職先(平成23年度)

#### 健康栄養学科

医療法人社団駿甲会 甲賀病院/医療法人回精会 稲沢老人保健施設/医療法人謙清会 介護老人保健施設いこいの里/社会福祉法人恩賜財団/社会福祉法人福寿園/社会福祉法人 愛生福祉会/社会福祉法人悠/総合福祉センター にながわ敬寿苑/日本ゼネラルフード/グリーンハウス/エムサービス/魚国総本社/富士産業/サンフード/ニッコトラスト/一富士フードサービス/国際フードサービス/三重給食センター/ジップドラッグ/クリエイイトエス・ディー/CFS コーポレーション/東海セイムス/スパーク/杏林堂薬局/マルヨシ食品/わらべや東海/小鳩保育園

#### フードビジネス学科

コカ・コーラ セントラル ジャパン/三河屋製菓/正和製菓/ローヤル製菓/チタカ・インターナショナル・フーズ/ブロンコピラー/若鷺家/コムライン/伊藤忠食品/カネスエ/三幸/デリズ/ジェイオフィス東京/アクセル/名鉄局印刷/名鉄インプレス/トヨタレンタリース名古屋/ホンダ四輪販売三重北

#### 情報メディア学科

メディコムソリューション/ナユタ/プライオリティ/ネオテック/ドン・キホーテ/ゲンキー/ブラーグ/ジ・アス/デュプロ販売/砺波信用金庫/塩谷建設/新東工業/サンアグロ/玉津浦木型製作所/岡設計/マツオカ建機/朝日サポートセンター/松本テクニコ/クリーン・ダストマン/アーク引越センター/大垣自動車学校/まんだら舎/ブロンコピラーアースサポート/社会福祉法人福寿園

### ■就職支援のご案内

#### 企業で活躍する卒業生の皆様へ

学生への就職支援事業のなかで本学が最も力を入れている「名古屋文理大学企業説明会」を平成25年2月5日(火)、6日(水)の2日間にわたって、稲沢市民会館小ホールにて実施します。

つきましては、卒業生の皆様にご活躍されている企業において、新卒採用を行う際は是非ともご参加いただきたくお願い申し上げます。

毎年80社以上の企業が参加する「名古屋文理大学企業説明会」は、新聞・テレビ等のマスメディアに取り上げられるほど社会的にも注目が集まる、本学の目玉事業となっております。

「名古屋文理大学企業説明会」の会場で学生は、人事担当者と面談し、



平成23年度「名古屋文理大学企業説明会」当日の様子

時には卒業生による企業説明を直接受けることにより、積極的な応募につながり、企業の採用活動の効率化にも貢献しています。

今後もより多くの企業との人材の橋渡しを行ってまいりますので、企業で活躍する卒業生の皆様から参加のご連絡を心よりお待ちしております。

お問合せ・ご連絡先

名古屋文理大学 キャリア支援センター

〒492-8520 愛知県稲沢市稲沢町前田365

TEL:0587-23-2400(代) FAX:0587-23-2461 E-mail:syusyoku@nagoya-bunri.ac.jp

## ■就職状況(短大部・専門学校)

名古屋文理大学短期大学部及び名古屋文理栄養士専門学校のキャリア支援センターでは、学生の特性や指向性に合った職業に就くことができるようキメ細やかで、迅速丁寧な対応を心がけ、就職活動の全面的なバックアップを行っています。また、近年では卒業後の進路として、四年制大学への編入学及び各種専門学校への進学指導も行っています。さらに、本学の就職指導は在学中だけで終わらず、卒業してからも支援をしています！在学生同様の対応で就職力をアップするべくサポートしています。以上のように就職支援においては、万全の体制で臨んでいます。OB・OGからの求人も多くいただいております。今後ともご支援をよろしくお願いいたします。



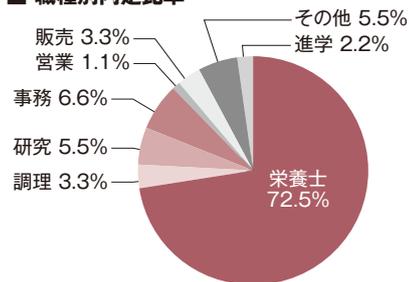
### 短大部(平成23年度)

#### ■就職内定率

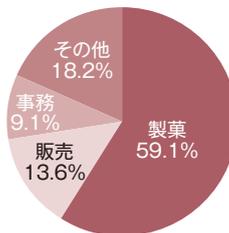
食物栄養学科(栄養士専攻) **94.7%**

食物栄養学科(製菓専攻) **95.7%**

#### ■職種別内定比率



食物栄養学科(栄養士専攻)



食物栄養学科(製菓専攻)

#### ■卒業生の主な就職先

栄養士系学科 短大部/食物栄養学科栄養士専攻 専門学校/栄養士科

■専門職(給食会社/医療福祉/保育教育)

日清医療食品/日本ゼネラルフード/フジ産業/メーキュー/日本アグネス/グリーンハウス 他  
小山田記念温泉病院/好生館病院/富田浜病院/藤田保健衛生大学病院/海南病院/江南厚生病院 他  
大生幼児園/金山保育園/千種保育園/中村保育園/ベル三好幼稚園 他

■一般職(給食会社/医療福祉/保育教育)

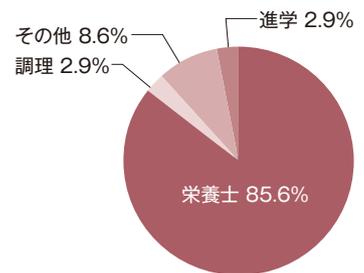
清洲桜醸造/丸八証券/サンエーインターナショナル 他

### 専門学校(平成23年度)

#### ■就職内定率

栄養士科 **100%**

#### ■職種別内定比率



栄養士科

食物栄養学科 製菓専攻

■専門職(製菓メーカー/洋・和菓子店)

カナリイ・ロウ/ユーハイム/富貴堂/アンジュ/ティール・エフ・ピー 他

—なお、過去には上記以外で「都道府県職員」および「独立行政法人国立病院機構 栄養士」が多数在籍し、活躍しております!—

お問合せ・ご連絡先

名古屋文理大学短期大学部  
名古屋文理栄養士専門学校

キャリア支援センター

〒451-0077 愛知県名古屋市西区笹塚町2-1  
TEL:052-521-2251(代) FAX:052-521-2259

## ❖ インターンシップ研修受入のお願い

近年、大学において自主性・創造性を持った人材を育成するとともに、学生の就業観や勤労観を涵養することが重要であるとされ、産業界からもその必要性が唱えられています。本学においては、インターンシップ研修をカリキュラムに取り入れ、在学中に企業等において就業体験を行うことで、大学が企業ニーズを汲み取り教育に反映させることができると考えております。また、就業体験は学生の学習意欲を増進させ、企業・職場での見聞が将来の進路決定に役立つ社会経験となり、学生の就業意識を高め、卒業後に社会人としての適応能力が高まるものと期待しております。以上のような事情をご理解いただき、是非インターンシップ研修へのご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

### 【インターンシップ研修の流れ】

- 1.対象学科  
フードビジネス学科/情報メディア学科/PR学科
- 2.対象学年 1~4年
- 3.原則としてつぎの期間に実施します  
8月、9月の夏期休暇中の1~2週間/2月、3月の春期休暇中の1~2週間
- 4.申込み方法  
6月と12月に学生に対してインターンシップ募集をします。
- 5.単位認定  
下記をすべて終えた学生に対して、インターンシップ運営委員会が単位を認定します。



【申込先】キャリア支援センター  
TEL: 0587-23-2400(代)



# 同窓会から

## 名栄会

### 名栄祭における同窓会企画

日時 平成24年10月20日(土)

場所 名古屋文理大学短期大学部 指定教室・特設テント  
卒業生のお店「食事券」抽選会やいも餅の無料配布などを実施!

名栄会ホームページ(名栄会ニュース)にアクセスして下さい。  
抽選で名栄会イベントのCafeチケットやQUOカードがゲットできます。  
下記名栄会ホームページをご覧ください。



【昨年の名栄会にて】

### 名栄会事業(助成事業)

名栄会では、会員のみなさんの身近な存在でありたいと願い、以下の事業を毎年行っています。

#### 1. 学生(準会員)への助成(平成24年度実績)

##### ● 同窓会クラブ援助金

バレーボール部、バスケットボール部、バドミントン部、硬式テニス部、インディアカクラブ、調理科学研究部、食文化研究サークル、卓球部、パティスリーサークル、スーパの会、プランターズ(以上11クラブ)



##### ● 自治会行事等への助成

入学式(入学祝)、体育祭・名栄祭(成績優秀クラス)、特別表彰(全国私立短大体育大会等で特に顕著な成績を収めた人)

##### ● 同窓会会長賞(卒業時に表彰)

#### 2. 卒業生(会員)への助成(平成23年度実績)

##### ● 同期会(クラス会)助成

第16回、39回、41回 食物栄養学科クラス会

##### ● クラブOBOG会助成

インディアカクラブ、バスケットボール部、バドミントン部、栄養実態研究サークル

### 平成24年度名栄会定例総会開催の報告とお知らせ

平成24年6月13日(水)午後7時より、名古屋文理大学短期大学部E館大会議室において開催されました。議事内容等詳細はホームページをご覧ください。

なお、理事会において次年度以降の定例総会は、毎年6月最終月曜日午後7時より同会場にて行くと決定されました。ご都合のつく限り、多くの会員の方々のご出席をお待ちしております。

### 名栄会ホームページ

<http://www.nagoya-bunri.ac.jp/COL/meiei/>

[同窓会事務局へのお問い合わせ]

#### 同窓会事務局 S館2F

開室時間：月・水曜日 午前10時～午後3時  
(短期大学部の休業中を除く)

TEL:052-521-2251(内線521) FAX:052-521-2259

E-mail:meiei@nagoya-bunri.ac.jp

## 稲友会



平成23年度

卒業生に対する進学・学会参加への助成

助成者からのメッセージ

名古屋文理大学が4年制大学へ改組転換してから13年が経過し、稲友会としても、今後の卒業生の活躍が期待されます。そこで、開発・研究職として働く卒業生の萌芽的な活動への奨励として、大学院進学・学会参加に対して、次のような助成を行っています。

平成23年度 助成件数:2件 助成金額:各3万円

助成対象:名古屋文理大学卒業生のうち卒業後7年以内で、大学院在学中の者もしくは学術学会の会員

なお、助成金授与式を平成23年10月29日(土)稲友祭1日目に行いましたので、ご報告とともに助成者からのメッセージをお伝えします。



大橋 平和さん

平成23年度 情報文化学部 情報メディア科卒  
所属:モバイル学会 勤務先:株式会社システムリサーチ

私は現在、株式会社システムリサーチでSE(システムエンジニア)の仕事をしております。大学在学中から、モバイル学会で研究発表などの活動を行いました。特に、在学中に取り組んだ学習成果については、佐原理先生を主著とした原著論文を学会論文誌へ掲載していただくことができました。

さらには、青山学院大学や武蔵野学院大学の学生と一緒に取り組んだ、学会研究会での学生セッション「モバイル社会のフューチャービジョン」の発表を通して得られた他大学との共同作業は、社会人になった今でも本当に貴重な体験だったと感じております。今後も、学会活動はもちろん、勤務先での情報技術(IT)を通して社会に貢献し、併せて名古屋文理大学の発展に寄与できるよう多くのことを学んでいきたいと思っております。



杉田 奈未穂さん

平成21年度 情報文化学部 情報メディア学科卒  
所属:モバイル学会 勤務先:株式会社エスケイワード

名古屋文理大学在学時には、先生方のご指導のもと、様々な学会での発表を経験させていただく中で、社会で実用化される前の研究内容を拝読できたのは、私にとって、とても有意義な時間でした。

また、私が研究していた多言語翻訳という分野が、株式会社エスケイワードでも取り組まれており、その基礎となっている「地球社会に役立つ新たな価値を生み出す」という企業理念に感銘を受けたのが、入社する動機の一つとなりました。

当社は「グローバルコミュニケーションをデザインする」をテーマとした企業で、Web制作を行っております。

今年度は、母校の名古屋文理大学とともに名古屋文理大学短期大学部、名古屋文理栄養専門学校様のWebリニューアルにも携わらせていただきました。情報メディア、モバイルの世界は、常に変化し新しいことに対応していく必要があります。今回の助成を利用して、論文誌の購読や研究会への参加をしたいと思います。

最後に、このたびは「進学・学会参加への助成」の助成者に選定いただき誠にありがとうございます。

平成24年度以降も継続事業として「卒業生に対する進学・学会参加への助成」を行ってまいります。助成対象者の方は同窓会webサイトより奮ってご応募ください。

※今年度の上記助成についての応募受付は終了しました。次年度につきましては詳細が決まり次第、以下の同窓会webサイト及びB-netブログへ掲載していきますので随時ご確認ください。(平成25年度4月上旬頃掲載予定)

名古屋文理大学同窓会・稲友会webサイト

<http://www.nagoya-bunri.ac.jp/classmate/index.html>

# インフォメーション

## 【科学研究費助成事業・奨学寄附金・委託研究費の実績一覧】

平成23・24年度は以下の科学研究費補助金・奨学寄附金・委託研究費を受け入れました。 ※平成24年度は8月31日現在の状況

平成23年度			
科学研究費助成事業	氏名	金額	研究課題
基盤研究(B)	山田 弘明	3,120,000	デカルト書簡集の全訳プロジェクト
若手研究(B)	後藤 千穂	1,170,000	生体指標を用いた妊産婦および妊娠前成人女性の栄養改善アプローチの検討
基盤研究(C) 研究分担者	山住 富也	130,000	創造的思考力訓練を目的としたeラーニングの授業設計とその教育教材の開発研究
基盤研究(C) 研究分担者	辻 とみ子	260,000	児童の食嗜好形成過程に着目した栄養教育介入とその検証
基盤研究(C) 研究分担者	江上 いすず	325,000	筋萎縮性側索硬化症の栄養療法指針作成を目的とした基礎的疫学研究
基盤研究(C) 研究分担者	中村 麻理	130,000	産業グローバル化先進都市地域の階層構造変動と集合行為レジーム

奨学寄附金			
氏名	金額	研究課題	
カゴメ株式会社	芳本 信子	200,000	虚血マウスに対するリコピンの投与効果の検証
(財)エリザベス・アーノルド富士財団	日比野 久美子	800,000	製パンにおける米粉の利用ーグルテンの品質特性および塩類の作用について

委託研究費			
氏名	金額	研究課題	
名古屋市上下水道局	芳本 信子	220,000	体と環境にやさしい料理レシピ等の研究及び作成
愛知県下水道科学館	宮澤 洋子	310,000	エコレシピ作成
愛知県下水道科学館	宮澤 洋子	130,000	エコレシピデータ作成
一宮商工会議所	栗林 芳彦	71,277	モー1グランプリ スタンプラリー集計
小牧市	栗林 芳彦	273,943	情報発信活動及びPR活動支援

平成24年度			
科学研究費助成事業	氏名	金額	研究課題
基盤研究(B)	山田 弘明	2,470,000	デカルト書簡集の全訳プロジェクト
若手研究(B)	成田 裕一	1,820,000	Hox変異マウスを糸口にしたトノトピー形成メカニズムの解明
基盤研究(B) 研究分担者	長谷川 聡	130,000	立体映像による眼疲労と3D酔いの原因の特定と対策の確立
基盤研究(C) 研究分担者	山住 富也	130,000	創造的思考力訓練を目的としたeラーニングの授業設計とその教育教材の開発研究
基盤研究(C) 研究分担者	江上 いすず	260,000	筋萎縮性側索硬化症の栄養療法指針作成を目的とした基礎的疫学研究
基盤研究(C) 研究分担者	中村 麻理	78,000	産業グローバル化先進都市地域の階層構造変動と集合行為レジーム

奨学寄附金			
氏名	金額	研究課題	
カゴメ株式会社	芳本 信子	200,000	虚血マウスに対するリコピンの投与効果の検証

委託研究費			
氏名	金額	研究課題	
名古屋市上下水道局	芳本 信子	220,000	体と環境にやさしい料理レシピ等の研究及び作成
愛知県下水道科学館	宮澤 洋子	358,050	エコレシピ作成
小牧市	栗林 芳彦	103,840	情報発信活動及びPR活動支援

## 【平成23年度 財務状況・事業報告について】

学校法人 滝川学園ホームページの財務状況をご覧ください。 <http://www.nagoya-bunri.ac.jp/gakuen/finance.html>

## 【一般寄附金のお願い】

本学は「世界から信頼される若人を育成する」との立学の精神の下、高等教育機関として社会のニーズに応えるべく教育体制を充実させるとともに教育研究施設等の整備に努めております。学生がこれまでと同様の教育研究を享受するために更なる努力が必要です。任意ではございますが卒業生の方をはじめ幅広く社会各層の方々からご支援をいただきますようお願い申し上げます。

## 【寄附者ご芳名】

平成23年6月1日から平成24年7月31日までの寄附者ご芳名を掲載させていただくとともに、ご芳志に対し厚く御礼申し上げます。

### 多くの方よりご支援賜り、ありがとうございました。

#### ●企業

稲沢青年会議所／紀伊國屋書店／秀興組／総合電気通信／大栄食品／竹内刃物製作所／ナカシマ／不二福祉事業会／丸善深見建装

#### ●個人寄附者

安藤 佳江／伊藤 範子／河合 勇也／小塚 尚史／竹内 宏子／野場 康男／原 知子／布施 博政／森 千賀子／森田 雄一郎／矢田 昭夫／山本 允博／渡辺 恭子

(敬称略、順不同、公表を了承された方々のみ掲載)

一般寄附金については、同封の「一般寄附金募集要項」をご覧ください。ご支援いただきますよう、よろしくお願い申し上げます。また、ご不明な点については下記までお尋ねください。

#### ・問い合わせ先

〒492-8520 愛知県稲沢市稲沢町前田365(名古屋文理大学) 学校法人 滝川学園 事務局 経理課 寄附金係 TEL 0587-23-2400(代表)

### 管理栄養士国家試験対策講座の体験談

私は現在、委託給食会社で給食管理の仕事をしています。短期大学部を卒業して3年目にあたる平成23年度に、管理栄養士国家試験を受けようと以前から決めていました。

当初は独学で試験勉強をしようと思いましたが、しばらく学問から離れていたため、なかなかテキスト内容が理解できませんでした。そんな時、母校から管理栄養士国家試験対策講座のお誘いのハガキが来ました。私は母校の先生方の授業が大好きだったので、先生方の下で学びおしたいと思い、受講しました。授業進度は速いですが、分かり易く教えていただけるため独学では分らなかった問題も解けるようになりました。ただ、休日

に勉強はできるものの平日には残業も多く、毎日継続して勉強をするのはなかなか大変でした。しかし、その現状を先生に報告すると「言い訳をしたら終わりだ。毎日、1時間だけでもやりなさい。」と喝を入れられました。それ以来、毎日最低1時間は勉強するようになり、今まで模擬試験で100点もいかなかったのが120点取れるようになりました。そのことに嬉しさを覚え、試験当日まで毎日勉強を続けて行った結果、見事合格することができました。仕事と試験勉強の両立は本当に辛かったですが、先生方や友人の励ましのおかげでなんとか頑張ることができました。管理栄養士国家試験対策講座を受講したからこそ効率的に勉強ができ、合格に結びついたと思っています。本当に感謝しています。



名古屋文理大学短期大学部  
食物栄養学科 栄養士専攻  
平成20年度卒  
後藤 奈美さん

### 管理栄養士を目指す皆様へ 「エクステンション事業」の紹介

名古屋キャンパス(短期大学部および専門学校)ではエクステンション活動として卒業後教育と地域貢献事業を行っています。その一つに「管理栄養士国家試験対策講座」があり、卒業生の管理栄養士国家試験合格者数増加への一助となっています。また合格へのバックアップ体制として、在学中も利用できる「管理栄養士サポートセンター」を設け、各種参考書やDVDを使用した自主学习、勉強会の実施(不定期)、合格へ向け共に励む仲間作りなどを行っています。

管理栄養士を目指す卒業生はぜひ活用してください。

講座の受講方法、サポートセンターの利用方法、およびエクステンション事業の詳細については短期大学部HPをご覧ください。

今年の管理栄養士国家試験対策講座のご案内は終了しました。毎年6月中旬を目途に短期大学部HP及び受験資格(卒業後3年経過)を持っている方にDM等でご案内しています。内容につきましては短期大学部HPを確認してください。

短期大学部HP

<http://www.nagoya-bunri.ac.jp/COL/community/>

## MY DREAM SHOP

フランス料理

### 【プチ デミグラス Petit Demiglace】

小牧市小針2丁目58番地  
TEL/FAX: 0568-42-6191

定休日/毎週火曜日・第2月曜日

ランチタイム/11:30~14:00(要予約)

ディナータイム/17:30~21:00(要予約)

#### ●ランチメニュー

【プチコース ¥1,575(税込)~】  
ベビーリーフのサラダ/季節の野菜スープ  
鶏肉のソテー香草ソース  
新鮮魚のオリジナルソース  
オムレット デミ風  
モチ豚のエスカロップ  
カフェ

4品の中から1品

#### ●ディナーメニュー

【アーン(1のコース) ¥3,990(税込)~】  
ベビーリーフサラダと自家製生ハム添え/  
季節の野菜スープ/  
新鮮魚のおまかせ or 牛肉のステーキフランス風/  
デザート パン/カフェ

など



オーナーの野田高志さんは、名古屋栄養短期大学食物栄養科<sup>※1</sup>を昭和44年3月に卒業後、京都のレストラン菊水で修行。その後、地元尾西市<sup>※2</sup>でフランスレストラン「プチ デミグラス」を創業。そして現在は小牧市に移り、レストラン「プチ デミグラス」を営んでいる。料理を売ることは贅沢であるからこそ、おいしいものを召し上がっていただき恩返しをしたいと彼は話す。お客さんの顔や雰囲気を見て感じ、基本のベースソースに色づけをしてお客さんに合わせた料理に仕上げる。そのこだわり(付加価値)を彼は当然のことと、40年間、仕事に対するプライドを貫いてきた。満席でなくても予約外のお客さんをお断りしたりと決して採算は合わないが、理想を求め続けるからこそ、今の彼の人望と人脈、そしてこのお店がある。彼の人生ごと料理を堪能して欲しい。

※1 現名古屋文理大学短期大学部 食物栄養学科 ※2 現一宮市

## 編集後記

ぶんりvol.4はいかがでしたか? 今号の見どころはやはり、理事長と新学長の特別対談です。卒業生、在学生とその保護者の皆さまに、改めて本学の取り組み姿勢をお伝えすることができたと思っております。この「ぶんり」が本学と皆さまをつなぎ、互いに良い刺激を受け、新たなことにチャレンジする活力となれば、と期待しています。また、発刊にあたり、原稿執筆をお引き受けいただきました皆さまへ心より感謝申し上げます。今後ともよろしくお願いたします。

ぶんり編集室

募集します!

### みなさんからのメッセージをお寄せください!

『ぶんり』は卒業生の皆様の誌面をつなぐコミュニケーション誌です。

- ♣「ぶんり」への感想をお寄せください。
  - ♣「ぶんり」でこんなものを読みたい、知りたいというリクエストも受付中。
  - ♣その他、卒業生同士の交流の呼びかけや近況報告など。
- E-mailやお便りでお送りください。